

タイトル	13.自分の成長を確かめる
------	---------------

ねらい 成果	最後の授業になる。半年の授業を振り返って、授業を通して自分がどのように変化、できれば成長したかを考える。変化していなくても、授業で何をしたか、何のためにしたかを確認して、今後の人生で少しでも役立てば良い。
-----------	--

	時間	ねらい/目標	活動内容/問い プリント 形態 手法
1	03	前回はふりかえり、今回のテーマを提示する。	プリント 『voice』 (1)出席を取る。 (2)前回のワークをふりかえる。 ・チームワークの大切さを学んだ。その中で自分がどのような役割を果たしているかを考えた。
2	45	S Pトランプを使って、自分の性格を考える。	プリント 『パーソナリティ表』 『S Pトランプの進め方』 (1)『S Pトランプ』を配布する。 (2)トランプの説明をする。 ・S Pとはサブパーソナリティである。 ・トランプには、人の持つ性格が書いてある。 (3)自分の持っている性格を表していると思うカードを10枚選ぶ。 ないものはジョーカーカードに書き込む。 (4)これからのワークの重要な注意をする。 ・「I am personality」ではなく、「I have personality」である。 ・私はそのパーソナリティではなく、そのパーソナリティを持っているだけである。 ・だから、手放したり、持ったりできる。 ・だから、「S P」、「サブ・パーソナル」である。 (5)マークと数字の説明をする。 赤＝人中心。メンバーが気になる。 友達と遊びに行く時に、誰と遊ぶかが気になる。 黒＝課題中心。何をするのか気になる。 友達と遊びに行く時に、何をして遊ぶかが気になる。

ハート、スペード＝能動的。

ダイヤ、クラブ＝受動的。

8～13＝好ましいと思われる。役に立つ。

1～7＝好ましくない。良いようには働かない。役に立つこともある。

(6)『パーソナリティ表』を配布する。

(7)自分のマークの部分を読む。

・もう一度、「I am personality」ではなく、「I have personality」であることを確認する。

(8)『S P トランプの進め方』を配布する。

(9)選んだ10枚のサブパーソナリティの中から、嫌いなカードを3枚選ぶ。

(10)次のことを考えて書く。

①嫌いな理由。

②それはいつ頃からいるか。

③そのサブパーソナリティがいて助かること役立つこと。

(11)嫌なサブパーソナリティを次の の中に入れて、心の中で10回唱える。

「私は、 というサブパーソナリティを持っている。

しかし、私は、 そのものではありません」

(12)残ったカードの中から、自分に足りないサブパーソナリティを3枚選ぶ。

(13)理由を書く。

(14)新たに選んだ3枚のカードを加えた13枚のカードを、心の形に配置する。

・残りのカードは横においておく。

(15)4～5人組になる。

(16)メンバーに、自分のカードとその形を説明する。

(17)他の人は、その人の残りのカードの中から、その人に当てはまると思うカードを1枚ずつ選び付け加え、理由を説明する。

(18)16枚のカード見て、自分について考える。

(19)感想を書く。

時間があれば、

(20)自分の嫌いな人のカードを10枚選んで、自分の選んだカードと比べる。

3	30	ポジティブ・メッセージ	(1)テキストの裏表紙を使う。 (2)真ん中に、自分の良さを表す感じや単語と、名前を書く。 (3)教室を回って、全員と挨拶をし、この講座を通じて気づいた相手の良さを短いメッセージで伝え、書く。
4	20	実践的表現講座の半期をふりかえる。	(1)『社会人になるためのわーくをふりかえって』を配布する。 (2)半期にやってきたことを確認する。 (3)社会人基礎力の成長をチェックする。 (4)何を学んだかを書かせる。

13. 自分の成長を確かめる

生徒の感想

①のぶさん！最初表現って何をするのか謎だったけど、毎時間違うことをして楽しめたり、難しくって頭を使ったりしたけど、今思えば楽しい授業内容でした。人前で話すことが苦手だと分かったし、授業で敬語のことやコミュニケーションの取り方や、自分でどんな性格かなど、これから社会に出て就職する上でとても役に立つ授業だったと思いました。毎回変わるグループの中でどうしたら楽しめるかなど考えながらやっていて本当に楽しく取り組みました。今思えば早かったと思いました。今日が最後って寂しいなあ。②初めにこの講座に決まった時はどんなことをするんだろうと思っていたけど、授業を受けてみるとすごく楽しい内容で、先生もすごく面白くて良い人だった。この授業で学んだことは社会に出て役に立てそうなものばかりでした。今思うといろいろなことをしたなあと思う。この授業のお蔭で、普段喋らなかつた人とも喋ったり、そこまで仲良くなかつた人とも仲良くなれてとても感謝している。しかも消極的な性格が少しましになったと思うし、積極的に話しかけられるようにもなった。自分で少し明るくなったと思う。③こんな長期に渡って授業が楽しいって思えた授業は初めてでした。大学ではこんな授業をしたいという理想がかなった授業でとても嬉しかった。授業内容としては、自分を改めて知ることが多かったこと、何気なく日常的に行っているコミュニケーション、敬語、チームワーク、すべてが面白かったです。それにこれからも役立つことが多く、たまに家でも見返すこともありました。何より授業でよかったことは、男女話したことが少なかった人が多く、初めて話す人とこの授業を楽しみ、コミュニケーションを取れたことが嬉しかったです。違う人の意見や考えを聞いて、こんなふうにならなかつたかなと思うこともあった。この授業で確かに自分は少し成長したと思います。④表現の授業はゲームとかしたり、楽しみながら役に立つことを学べたので嬉しかったです。紙コップを使った月面軟着陸は、みんなで協力して一つのことをやった印象が一番強かつたし、面白かったです。この表現の授業でいろいろな人と話したり、人の意見を聞いたり、自分の意見を言ったりして、自分が少し変わった気がしました。自分の意見を人前で言うのは余り得意ではなかつたけど、表現の授業をやってきて、みんなの前でも普通に意見できるようになりました。自分の性格がよく分かりました。良い所も悪い所も分かつてよかったです。⑤貿易ゲームが嬉しかった。その他のもほとんど嬉しかった。初めは友だちもいないし表現って何をやるんだろうと思っていたが、授業の中で話したことの無い人と友だちになれたし、普通に話せる友だちも増えた。もうこのメンバーで授業することはないと思うと寂しいけれど、みんないろいろ頑張ってもらいたいと思った。自分も頑張ろうと思った。⑥最初の自己紹介で、表現なんて取るんじゃないかと思ったけれど、進めていく内に楽しくなってきた、今は表現を取って良かったと思うようになりました。最初は喋ったことの無い人とチームを組むなんて嫌だと思ったが、一緒にゲームをする内に、その人たちの良い所を見つけたりできてすごく良か

ったです。ゲームを通してたくさんの方が学べて、さらに積極性も上がったんじゃないかと思います。⑦この半年間でいろいろなことが学べたと思います。私は人に自分の思いを伝えることや自分から話すことがとても苦手でした。でも、この半年間の授業で少しだけ、自分から話しかけることもできたのではないかと思います。授業は楽しかったし、喋ったことのない人ばかりなので不安ばかりだったけど、ゲームを通してコミュニケーションが取れたと思います。社会は本当に厳しいと思うし、この表現の授業を振り返りながら、社会に役立てたいと思います。今まで自分の知らないことや仲間の大切さをし知りました。意外な自分を知れて良かったし、これからも自分のネガティブな所などを直せたらいいなと思っています。

教師の感想

最後の授業、やや取り組みの薄い生徒も目について、若干残念な思いも残したが、概ね、生徒諸君には満足してもらえたと思う。半年間を振りかえて自分の成長をグラフにすることで、より強く、あるいは実際以上に実感してもらえたと思う。そう思うことが、予想以上のエネルギーにもなる。そして、感想を読ませてもらうと、すべて肯定的なもので良かったという思いを深くした。多くの見知らぬ人と仲良くなれたのは、生徒たちが果敢にチャレンジしてくれたからです。たしかにゲームなどの仕掛けはしましたが、その仕掛けに乗ってけれなければ何も生まれません。その意味で、最大の功労者は生徒たちです。これを励みに、後期の授業は自信を持ってさらにバージョンアップしていきたい。半年間。こちらこそありがとう。